

寺報

No.697

令和7年9月

蓮華寺
發行

御聖訓

親は十人の子をば養えども、子
は一人の親を養う事なし。(略)
設え又今生には父母に孝養をいた
す様なれども、後生のゆくえまで
問う人なし。

『刑部左衛門尉女房御返事』



(解説)

現代はなんでも自由主義だと履き違えた人が多くなり、特に親子関係が狂ってきているようです。

子を捨てる親・親の蒸発・親の子殺し・子の家出・子の親殺しなど、信じられない事件が頻繁に起き、親子断絶の時代となっています。

子は親を大切にすることを忘れ、親もまた子を信じられず、更に自分自身さえも見失う人が、いかに多い事でしょうか。

「親はたとえ十人子供がいても、同じく愛情を持つて育てるものだが、子はたった一人の親でも養い難く、ましてこの世で孝行したとしても、後生まで心配する者は少ないだろう。」

日蓮大聖人も布教の為、常に父母のもとを離れていましたので、ご両親へのご恩を忘れる事はなかったのでしょうか。

その分、何としても法華経・お題目のお力で両親の菩提を弔い、ご恩返しをしたいと思われたのです。

そして、正しい信仰のきずなを結ぶ事こそが、最高の親孝行になると教えられたのです。

『秋彼岸会』のお知らせ

九月二十日(土)より

二十六日(金)まで

【一週間】

④昨年度より『秋彼岸会』の法要は、朝六時三十分からの『朝のお勤め』の中で執り行っています。

ですから、皆様からご依頼のありましたご先祖様と仏様のご供養は、お勤めの中で一週間ご回向し、読み上げさせて戴いています。

なお、皆様も『朝のお勤め』に参拝し、共に法華經・お題目を唱える事も大切ですし、また彼岸中お寺の閉門の【午後五時まで】の間に、ご自由に参拝されても結構ですので、どうぞお寺に足をお運び下さるようお願い致します。



お寺からのお知らせ

*先祖供養(一週間)・・・八百円

お彼岸の先祖供養は、お彼岸前に申し込みますと、一週間、またその後に申し込んだものでも、「彼岸明け」まで供養を続けさせて戴きます。

なお、昨年度から『朝のお勤め』の中でご回向し、読み上げさせて戴いています。

どうか、ご供養は出来るだけ、お彼岸前日迄にお申し込み下さい。

*追 膳(一週間)・・・四千二百円

お彼岸の追膳は『位牌堂』、三階『永代供養堂』・お預かりしていますお骨の前に一週間上がりります。

なお、「彼岸入り」以降のお申し込みも受け付けしますが、準備の都合上、期間中、一日だけという(特定の日)の受付はしておりませんので、ご了承下さい。

また、追膳は数に限りがありますので、お早目にお申し込み下さい。【受付中】

日蓮宗
『寺院参拝バス旅行』のお知らせ

檀信徒の皆様からの要請がありましたが、お寺が多忙の為に遅れていました、日蓮宗寺院参拝のバス旅行の日程が決まりましたのでお知らせ致します。

今年^{たつこ}は三戸郡・田子町^{たつこ}にあります「光明寺^{こうみょうじ}」(川上洋行住職)を参拝し、ご開帳・総会を開催致します。

その後、同町の『なくい』に会場を移し、昼食と慰労を兼ねました懇親会を行います。

「光明寺」は当山としては、二回目の参拝となりますが、県内では遠方になりますので、行かれた方も少ないのではないかと思います。

ですから、是非ともこの機会を逃さず、皆様のご参加をお願い致します。

なお、田子町までは、往復トイレ休憩を充分取りながらのバス旅行となります。

皆様も、なかなか個人では行けない県内の日蓮宗のお寺を参拝してみましよう。

なお、聖徒団会員以外の皆様のご参加もご自由です、で、どしどしお申込み下さい。

旅行日程

日 時..九月三十日(火)

集 合..蓮華寺・・・午前七時十五分【時間厳守】

バ ス..出 発・・・午前七時四十分

場 所..帰 着・・・午後六時頃予定

昼 食..総 会・・・光明寺(田子町)

食..『なくい』・・・『十和田美術館』見学

④(なお今回は温泉入浴はありません)

費 用..大人 九、五〇〇円

(開帳料、入館料、昼食代、交通費等)

募 集..四十名(受付中)

持 参 品..数珠、聖徒団のタスキ、霊神符【お守り】

注意事項

一、光明寺での供養・祈願をご希望の方は、当日の朝に当山で受付ます。

④供養・祈願・・・各五百円

一、参加者は、必ず霊神符【お守り】を着体してきて下さい。

一、参加者は、全員聖徒団のタスキを使いますのでこの機会にお求め下さい。

*聖徒団のタスキ・・・三千元(事務所迄)

*タスキは毎年使用します。

『番神信仰』

当山の稲荷堂には、いわゆる『最上稲荷』様といわれる法華經守護の『最上位經王大菩薩(さいじょうい・きょうおう・だいぼさつ)』様と、一ヶ月三十日の間、毎日交代で国家と国民を守護します『三十番神』様とが祀りされています。

その中の二十二日目、京都伏見の『稲荷大明神』のご当番に当たる処から、当山では二十二日の日を『最上様の日』として御法楽しています。

同じく、皆様の家の過去帳の二十二日にも、その日の守護の善神として『山城・稲荷大明神』が祀りされています。

日蓮宗では鎌倉時代の後期頃から、鬼子母神信仰と共に、特に京都で番神信仰が弘まってきました。

それは大本山・妙顕寺の開基・日像上人が、当時、神祇信仰の盛んな京都で、三十番神を法華經守護の善神として取り入れる事により、お題目の布教を人々に弘めやすくなったものと考えられています。

これは日蓮大聖人が、「日本国のあらゆる神々も、お題目のお力により、皆法華經の行者の守護をお誓います」とお説きになられたからなのです。

最上稲荷大祭

九月二十二日(月)

午後一時より

於：蓮華寺稲荷堂

『稲荷』という名は字の如く【稲】の神様であり、農業の神様という意味です。それが転じて商売繁盛・家内安全・開運の神様になったのです。



* 祈 願 . . . 八百円

* 御法楽 . . . 八百円

* 御神体御法楽・千円

◎それぞれお申込みの方には、最上様の『お札』を差し上げます。

◎御神酒・お供物も受付けています。

檀信徒研修会のお知らせ

☆九月二十七日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

* 『聖典の読誦(三十分)』と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時 間…午後七時より

場 所…小本堂(イス席です)

持参品…聖典(事務所)・数珠・太鼓(所有の者)

* 月一度の修行ですので、この機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

* ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張って修行して下さい。

『提灯』の募集!

当山で『お正月』『鬼子母神大祭』『御会式』に下げます『提灯』(トロー)を募集致します。

作成価格は八千円、年間の管理費が二千円ですので、初年度は一万円となります。

『永代供養塔』のご供養

境内に安置しています『永代供養塔』『水子観音像』『動物供養塔』の〈秋彼岸供養〉は、中日の九月二十三日(火) 午前十時半より、まず大本堂にて読み上げとご供養をし、その後境内にて再度ご供養致しますので、ご一緒に参拝出来る方は時間までお越し下さい。時間は四十分程です。

霊断

ご自分や家族の中で、色々な困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて解決、ご指導しますのでご安心下さい。

なお宗旨・宗派は問いません。 ☎776-5840

『聖徒団会員』の募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職が各会員の「家内安全」をご祈願致します。

その他、御寶前のお花・皆様にお配りしています、聖徒タイムズ(新聞)・寺報等の援助などに活用しています。 会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

『位牌壇』を持ちましょう

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていますので、皆様のご先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられています。

◎仏様のご命日に旅行などで不在の時や、ご高齢で家庭で追膳が作れない場合でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも大丈夫です。

◎現在『位牌壇』をお持ちの方で、一年以上ご使用の方には、上位で空いている『位牌壇』を無料でお譲りしています。(注)管理費は変わります)

【三席】から【特席】にも上がれます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来て助かります。

◎詳細は事務所まで！

九月の行事

一日(月)『盛運祈願会』 午後一時より

- ・ 毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。
- ・ お勤めに参拝し、お題目とお経を唱えましょう。
- ・ 聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。
- ・ 檀信徒の皆様は、必ずお守りを持ちましょう。



十三日(土)『日蓮大聖人のご命日』 午後一時より

- ・ お経 如来神力品第二十一 (訓読・日本語読み)
- ・ 如来寿量品第十六 (真読・漢字読み)
- ・ 日蓮大聖人のご報恩を忘れずに参拝しましょう。

二十日(土)～二十六日(金)まで一週間

『秋彼岸会』

②『秋彼岸会』は自由参拝と致します。

二十二日(月)『最上稲荷大祭』 午後一時より

二十七日(土)檀信徒研修会『唱題行』午後七時より

☆奉仕のお知らせ

『秋彼岸会の追膳』

二十日(土)～二十六日(金)まで一週間

②『お彼岸の追膳』のお手伝いは一週間、朝【午前六時～七時半迄】夕【午後三時～五時迄】ですので、お手伝い出来ます方は時間迄にご集合下さい。

②お寺のお手伝いご希望の方は、どなた様でも歓迎致しますので、どうぞ時間までお出下さい。

二十二日(月)『最上稲荷様大祭』のお手伝い

教宣部男性 午前十時半より
教宣部女性 昼 十二時より

*テント・のぼりの設営・供物・祈願の受付等のお手伝い、並びに後片付けをお願い致します。

②各部員はご奉仕の他に、二十二日(月)午後一時からの『最上稲荷様大祭』の法要に積極的にご参拝して下さい。

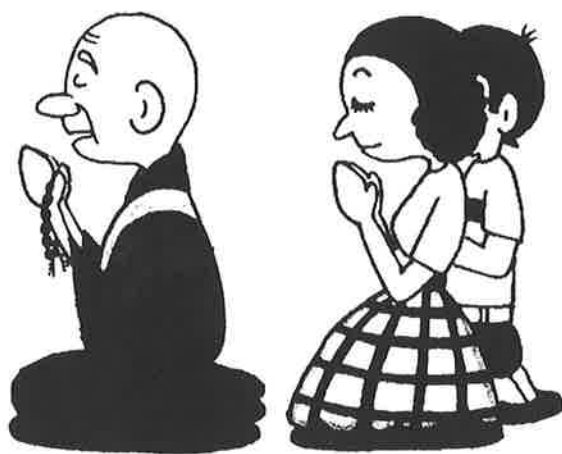
◎教宣部長・杉淵昌三

秋 彼 岸 会

九月二十日(土) より
二十六日(金) まで
【一週間】

秋彼岸は自由参拝と致します

- ⑨『秋彼岸会』は、檀信徒の皆様の自由参拝となりますので、ご注意の上ご参拝下さい。
なお、ご供養は「朝のお勤め」の中で、一週間ご回向し、読み上げをしますので、ご安心下さい。



追 善 供 養 (一週間)

先祖代々・各霊位・・・・・・・・・800円

追 膳 (一週間)

位牌堂・三階永代供養堂・・4, 200円